＜様式 6-5 学校教育活動支援事業成果報告書＞

【活動の主題】　輝く石山　～iismでつながる～

【学校名】　　大津市立石山中学校

１　本校の概要

本校は全校生徒２３７名が在籍する小規模校である。大津南部瀬田川のほとりに位置し、石山寺をはじめとする自然・文化・歴史に恵まれた地域である。「地域のみんなで心を通わせ、子どもを見守り育てる石山」という思いを込めた iism を合言葉にして、学校、家庭、地域が連携した教育活動を推進している。

２　取り組んだ内容

（1）iismでつながる保幼小中連携

石山保幼小中の学びの連続性を意識し、地域教材を核とした教科横断的な学習を推進した。中学校では、２年生の校外学習として石山寺を訪問し、座主様から石山の歴史や文化、人々の思いについて直接伺った。境内ではグループ別行動による散策やフォトコンテストを実施し、体験をもとに国語科では短歌創作、英語科では石山寺の魅力を英語で伝える活動に取り組んだ。保幼小で積み重ねてきた地域理解の学びを中学校でさらに深める学習とした。

（2）地域連携「心を結ぶコンサート」

生徒会企画として「心を結ぶコンサート」を開催した。生徒会が一年間取り組んできた、季節飾りの贈呈、地域清掃、万引防止ポスター制作などの活動の集大成として、音楽で感謝の思いを届けることを目的に企画した。当日は高齢者施設や老人クラブの方々を招き、合唱を披露し、最後に全員で「にじ」を歌った。

（3）勤労・福祉体験学習

２６年間継続している本校の特色ある取組として、全校生徒が３年間の継続した職場体験を実施している。単なる体験にとどまらず、事前・事後学習に重点を置いて取り組んでいる。また、活動の意義を広く周知するため、地域に配布するチラシの作成や電車内広告を行い、特色ある取組を発信した。事後学習発表会は地域の方を招いた全校発表会として実施した。

３　活動の成果

地域の文化財を題材にした体験的な学習を通して、生徒は石山の歴史や文化を自分事として捉えることができたのではないかと感じている。それは、保幼小中の教員が、学びの連続性を意識したカリキュラム編成を進めたことにより、連携を基盤とした教育の在り方が具体化した。生徒は座主様から直接話を伺い、実際に境内を歩き、自ら感じ取ったことを短歌や英語表現としてアウトプットすることで、学びを自分の言葉で表現する力が育った。

こうした学びを土台として、勤労福祉体験学習では、３年間の職場体験を通して、生徒は働くことの大変さや責任の重さ、そしてやりがいを実感し、将来の生き方や進路について主体的に考えるようになった。事後学習発表会を全校・地域公開とすることで、生徒は「伝える相手」を意識した資料づくりや表現力などプレゼンテーションの向上が見られた。上級生の発表に触れた下級生からはあこがれの声が聞かれ、学びが継承されていることを感じた。また、チラシや広告を通した発信により、生徒の頑張りや本校の特色ある取組が地域に広く伝わり、学校への理解と期待が高まった。

そして、iism で育まれた地域への誇り、勤労・福祉体験学習で培われた人と関わる力、思いを伝える力が重なり、「心を結ぶコンサート」へと発展した。生徒会が中心となり企画・運営を行ったことで、生徒の主体性や責任感が育った。地域の方からは「元気をもらった」「心が温かくなった」という声が寄せられ、達成感を味わうことができた。

今後も、iism の理念のもと、こうした継続性のある取組を大切にし、生徒の成長を支えるとともに、将来、地域を支え、地域に貢献できる次世代の担い手の育成につなげていきたい。

＜様式 6-5 学校教育活動支援事業成果報告書＞

＊この報告書は、〈本校の概要〉〈取り組んだ内容〉〈活動の成果〉の各項目の留意事項（赤文字）に従って記載してください。完成しましたら、メール添付にて弘済会滋賀支部事務局へ送信してください。
（メールアドレス　**jigyo@shiga-kyoko.jp）**

＊送信いただいた成果報告書は、当支部ホームページに掲載します。